

J-LAF 主催 岡山恵美子 レクチャー

文字の伝統と可能性：日本語とアルファベット

スク립トのビジュアル性を理論と実践の面から研究している岡山恵美子が、マルチモーダルな日本語と日本文化が持つ可能性を探る。日本人のカリグラフィアーがアルファベットを使って表現することの意味、そして独自性とは何か。

文
も
字
じ

A B C

岡山恵美子プロフィール

長崎出身。長崎大学教育学部卒業、ダブリン・シティ大学修士課程（翻訳理論）、シドニー大学博士課程（言語学）修了。タスマニア大学、シドニー大学の日本語教師を経て、マコーリー大学アジア研究学部専任講師（2008年）を務める。主な研究エリアは、翻訳史・歴史言語学・スク립トのビジュアル性について。特に、日本語の文字の持つデザイン性や視覚的要素が、デザインの現場や日常生活の中でどのように機能しているかを理論と実践の面から研究している。

● 東京

2010年1月11日（月祝）14:00~16:00

文京シビックセンター 4F 会議室 B

文京区春日 1-16-21 03-3812-7111

● 神戸

2010年1月17日（日）14:00~16:00

神戸市勤労会館 406 号室

神戸市中央区雲井通 5-1-2 078-232-1881

● 定員：30名 定員一杯になり次第締め切ります。

● 参加費：1,000円当日会場にてお支払い下さい。

● 申込先：メールにて workshop@j-laf.org 宛まで。
東京会場は件名に「レクチャー申し込み東京」、
神戸会場は「レクチャー申し込み神戸」とお書きの上、
氏名連絡先と共に申し込み下さい。

● 主催：ジャパン・レターアーツ・フォーラム

● 問い合わせ先：workshop@j-laf.org

<http://j-laf.org>